

Meisei Topics

Vol.230
2026.09

インド気象局向けラジオゾンデ関連機器供給案件を受注

インド気象局(IMD)向けラジオゾンデ関連機器等の供給案件を8月18日に受注しました。IMDからの発注総額は約48億円で、当社を元請として能美防災株式会社のインド現地法人であるNohmi Bosai(India)Pvt. Ltd.を含む企業グループでプロジェクトを進めていきます。

ラジオゾンデは気球に取り付けて上空に飛揚し、地表から高度約30,000メートルまでの大気の気温、湿度、気圧、風向・風速等を観測する機器で、日々の天気予報や豪雨等の気象現象の予測、航空機の安全運航など、気候変動監視や防災分野に資するデータを取得するために世界各国で活用されています。

当社は、ラジオゾンデの品質向上と製品改良に継続的に取り組み、今日では世界各国のユーザーからも高い評価を得ています。本案件を通じて、長年にわたり培ってきた気象観測技術と実績を活かし、インドにおける気象観測体制の強化、および気象災害への対応力向上に貢献することを目指します。

今後とも、能美防災グループとの連携をさらに深め、社会を災害から守るべく国内外における新たな事業機会の創出に取り組んでまいります。



IMDにおいて撮影
(写真左から)

Dr. Anikender (IMD), Mr. Himanshu (SSTC)
Dr. Akhil Raj (IMD), Mr. Satish (SSTC), Dr.
Ansari (IMD), Dr. Soni (IMD), 夏明社長 (明星電
気), 廣澤社長 (能美インド社), 家坂 (明星電気), 高木
(明星電気)

※能美インド社: Nohmi Bosai(India)Pvt. Ltd.

※SSTC: SSTC MET SOLUTIONS

(現地パートナー)

日本科学未来館 特別展「大南極展」にGPSラジオゾンデ「iMS-100」を展示中

7月1日から9月27日まで、日本科学未来館(東京都江東区)で開催されている特別展「大南極展」において、当社のGPSラジオゾンデ「iMS-100」が展示されています。本展では、南極観測の歴史や最前線の研究活動が体験型展示で紹介されています。

GPSラジオゾンデ「iMS-100」は、南極における高層気象観測で使用される観測機器で、大気観測エリアで展示されています。気球に取り付けて上空に飛揚し、気温、湿度、気圧、風向・風速などの観測データをリアルタイムで取得します。これらのデータは、大気の状態の把握や気象予測、地球環境・気候変動に関する研究に利用されています。

明星電気はこれからも、「測る」と「伝える」の技術を通じて、気象・環境観測分野の発展に貢献してまいります。



特別展「大南極展」キービジュアル iMS-100

令和8年度東京都・江戸川区合同総合防災訓練に展示参加

7月5日に開催された「令和8年度東京都・江戸川区合同総合防災訓練」において、緊急地震速報利用者協議会の一員として展示・体験訓練に参加しました。会場の平井運動公園では、当社説明員が来場者の皆さまへ展示品の説明を行いました。

本訓練は、大規模地震からの復旧・復興が進む中で台風による豪雨災害が発生したという想定のもと、行政機関や関係団体、地域住民が連携して実施された都民参加型の総合防災訓練です。当社は、復旧・復興作業など危険を伴う現場における緊急地震速報の有用性や、気象情報を活用した防災・減災への効果について紹介しました。

今後も明星電気は、防災・減災ソリューションの普及啓発活動を通じて、安全・安心な社会づくりに取り組んでまいります。



展示・説明風景

【文中：敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

